

概況(図1, 表1)

7月4~6日に千葉丸(317ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮流路は遠州灘沖 34°10'Nを東進した後、神津島を通過し、房総沖を北東へ流れ、流型はN型であった。離岸距離は「平年並」であった。

今年の1~6月の銚子・九十九里海域の水温は、「やや低め」傾向で推移していたが、今月に入り水温が上昇した。

水温(表2, 図2・3・5)

海面では21~25, 100m深では13~20, 200m深では10~18であった。外房海域と銚子・九十九里海域は各層とも「平年並」であった。

塩分(図4・5)

海面では34.3~34.8, 100m深では34.4~34.8, 200m深では34.4~34.8であった。野島崎南東定線では、水深300~800m深に塩分極小層があった。

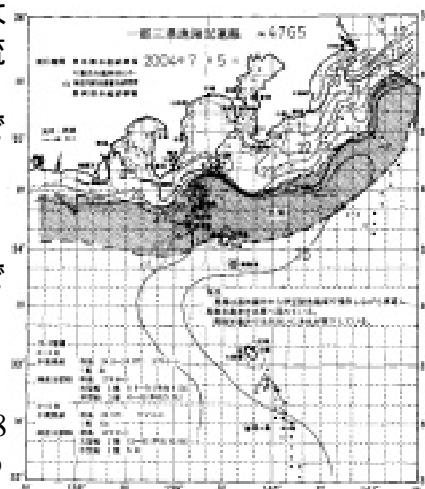


図1 一都三県漁海況速報

流況(図1・2)

2ノット以上の流れは、30~40マイル沖で観測され、太東岬南東方では3.0ノット以上であった。流向は概ね北東であったが、九十九里沖では南西であった。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2004年7月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎	南東	33	平年並
太東岬	南東	35	-
犬吠崎	南東	(40)	平年並

\*(数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

表2 水温の評価(2004年7月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	23.2	0.5	平年並	22.3	0.6	平年並
50	17.63	-0.37	平年並	17.16	-1.25	平年並
100	15.43	-0.45	平年並	14.64	-0.80	平年並
200	12.96	0.43	平年並	12.37	-0.33	平年並

\*水温は各海域の評価点の平均値

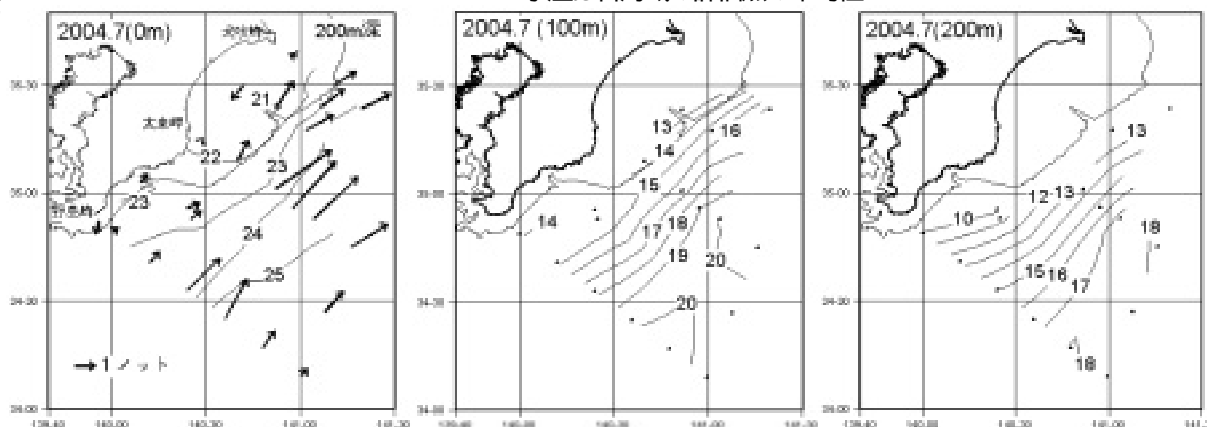


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

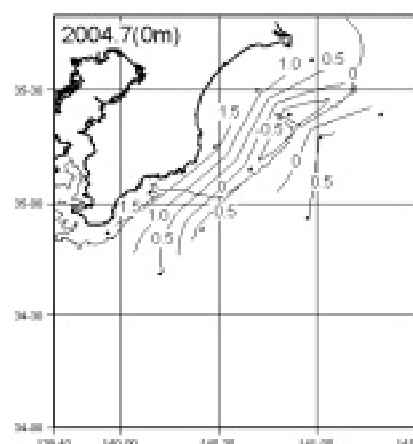


図3 水温の平年偏差

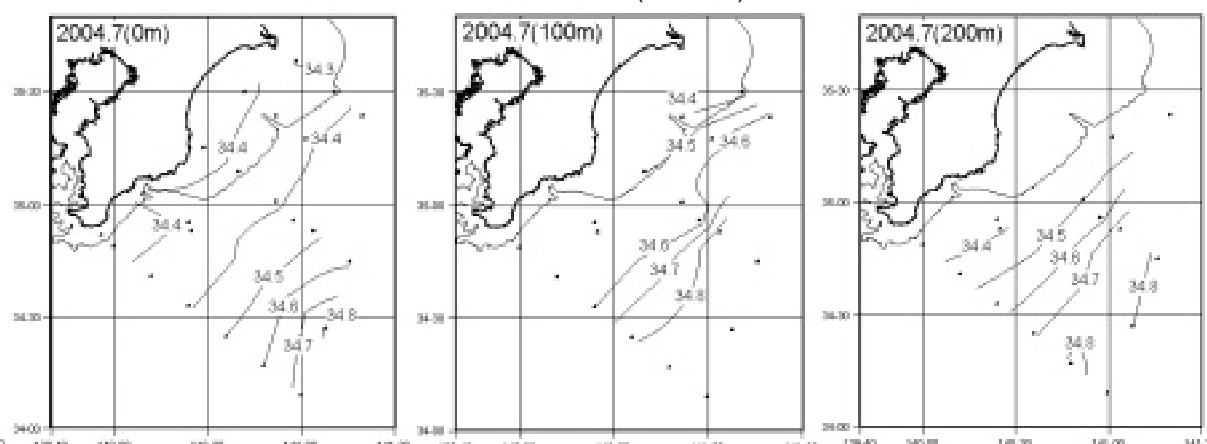


図4 塩分の水平分布

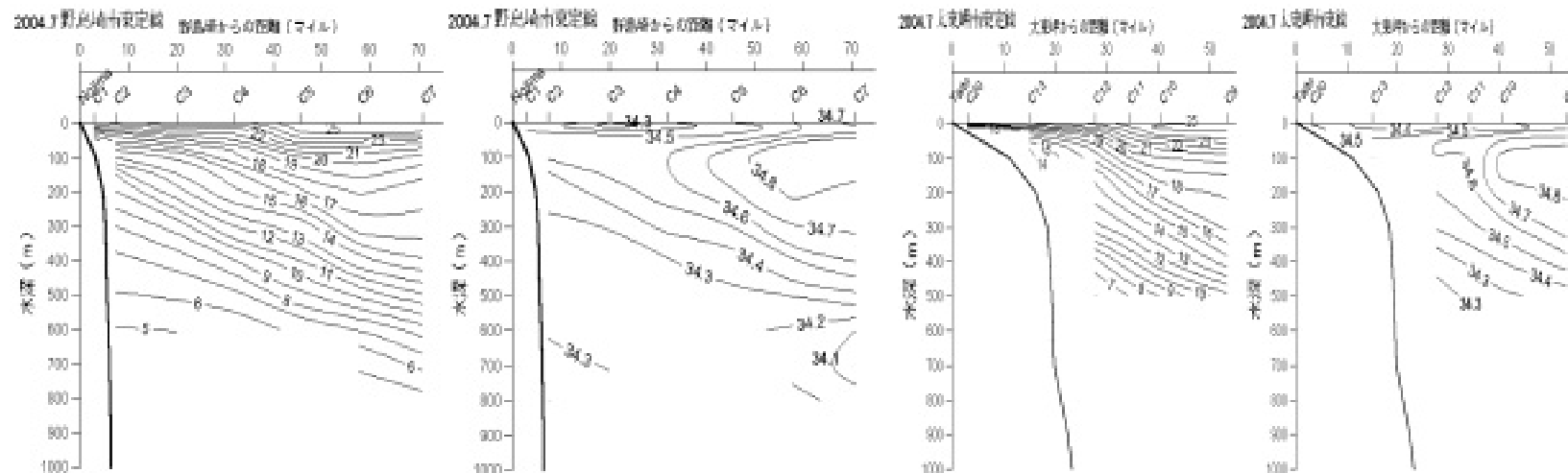


図5 水温と塩分の鉛直分布